

令和4年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

府中市立府中第一中学校

教科：保健体育		
生徒の学習状況	1年	男子 ・全般的に活発な生徒が多く、指示にはよく従い学習活動に意欲的に取り組んでいる。 女子 ・運動に消極的な生徒と意欲的に取り組む生徒の差が大きい。
	2年	男子 ・活発に活動に取り組んでいるが、稀に指示が通らないこともある。意見を積極的に発表している。 女子 ・落ち着いて授業を受けることができているが、意欲に差がある。
	3年	男子 ・指示にはよく従い学習活動にまじめに取り組んでいる。昨年度より進んで行動できる生徒は増えたが、運動に消極的な生徒が見られる。 女子 ・指示に従い意欲的に取り組むが自主的に動けない生徒が見られる。
現状の課題	1年	男子 ・全身持久力、投能力が低い傾向が見られる。基礎体力の向上が課題である。 女子 ・基礎体力が低く、体力や運動に向かう意欲の二極化傾向が課題である。
	2年	男子 ・持久力の低下が見られる。基礎体力が低い。 女子 ・平均的な基礎体力は高いほうではあるが、はっきりと二極化している。また柔軟性は低い。
	3年	男子 ・依然として投力や柔軟性に課題が残る。また、コロナ禍により基礎体力の全体的な低下が見られる。 女子 ・昨年度よりは向上しているが、コロナ禍のため持久力の低下が見られる。
具体的な改善のための方策	◎主体的、対話的で深い学びの視点から	
	1年	・体づくり運動、補強運動を継続的に行い、個人や仲間との関わりから「楽しさ」を味わわせるとともに、投能力や握力を高めるために、準備運動で投げる運動を取り入れていく。持久力に関しては生活習慣にも関係しているため、保健の授業も通じて、生活の中で実践できる知識を育成する。
	2年	・体づくり運動、補強運動を取り入れ、基礎体力の向上を図る。課題に対して個人で取り組むのではなく、仲間との対話を通して新たな発見を得ることができるよう、活動時間を確保しながら意見交換する時間をつくる。 ・保健の授業を通して、基本的な生活習慣を身に付けることができるように知識を育成する。
	3年	・各種目に応じた補強運動を取り入れ、投力や握力、柔軟性を高めると共に、基礎的な体力の向上を図る。持久力に関しては生活習慣にも特に変化がある学年のため、保健の授業も通し、生活の中で活用できる知識を育成する。 ・各種目において学習カードを使い、あらかじめ個人で考えたことを意見交換し、他人の意見を聞くことで自分の考えをより打倒なものとしてできるようにする。
	◎学びに向かう力等を育むための視点から	
	1年	運動に対して「やってみたい」、「またやりたい」という気持ちをもたせるために、各単元でじっくりと自己の課題に取り組める時間を設ける。課題を明確にするために、ペアやグループ学習を行い、他者の視点から自己の課題に気付かせることや、学習カードを活用し自己で課題を明確にさせる中で見直しをもって学習させる。
2年	・仲間とともに活動することによって一緒に喜び、話し、感情を共有できるようにする。そのためにペアやグループ学習を多く取り入れていく。また、学習カードを用いて毎時間の授業を振り返り、自分の課題について考えながら見直しを持って解決方法を探すこと	

		とができるようにする。
	3年	•新体力テストの結果を参考に自己の体力の課題を見つけ、補強運動等で意識して取り組めるようにしていく。また、学習カードの活用により、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげていけるようにする。